

## 下図 DXF 読み込みでの注意点

文書管理番号 : 1157-01

### Q. 質問

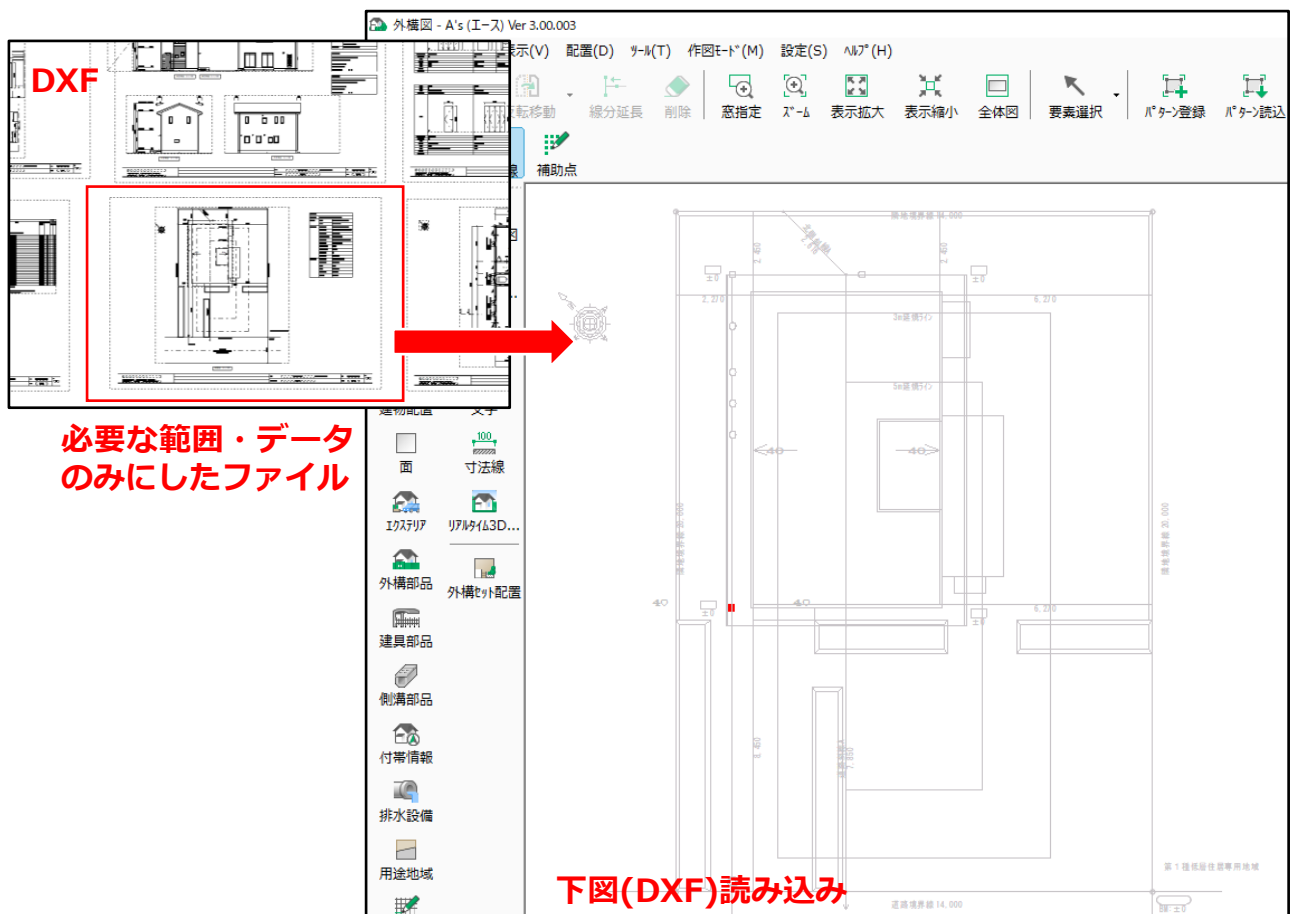
プラン図や外構図で DXF ファイルを下図として読み込む場合に、読み込みにかなり時間がかかったり、応答なしとなって読み込めないことがある。

### A. 回答

プラン図や外構図で下図として読み込みたい DXF ファイルに、緩い円弧のデータや多くの不要なデータが含まれている場合、処理時間が長くなり A's (エース) のプログラムが「応答なし」になることがあります。

下図として読み込む DXF ファイルは、不要なデータを極力削除し、必要なデータのみにしてファイルサイズを軽くすると、スムーズに読み込めます。

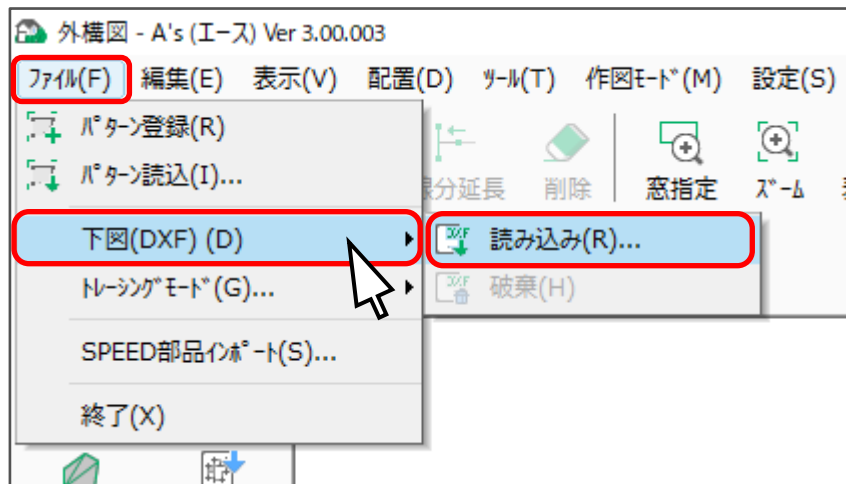
ここでは、配置図の DXF ファイルを、外構図の下図として利用する場合を例に説明します。



## 操作手順

### ● 下図 (DXF ファイル) の読み込み手順

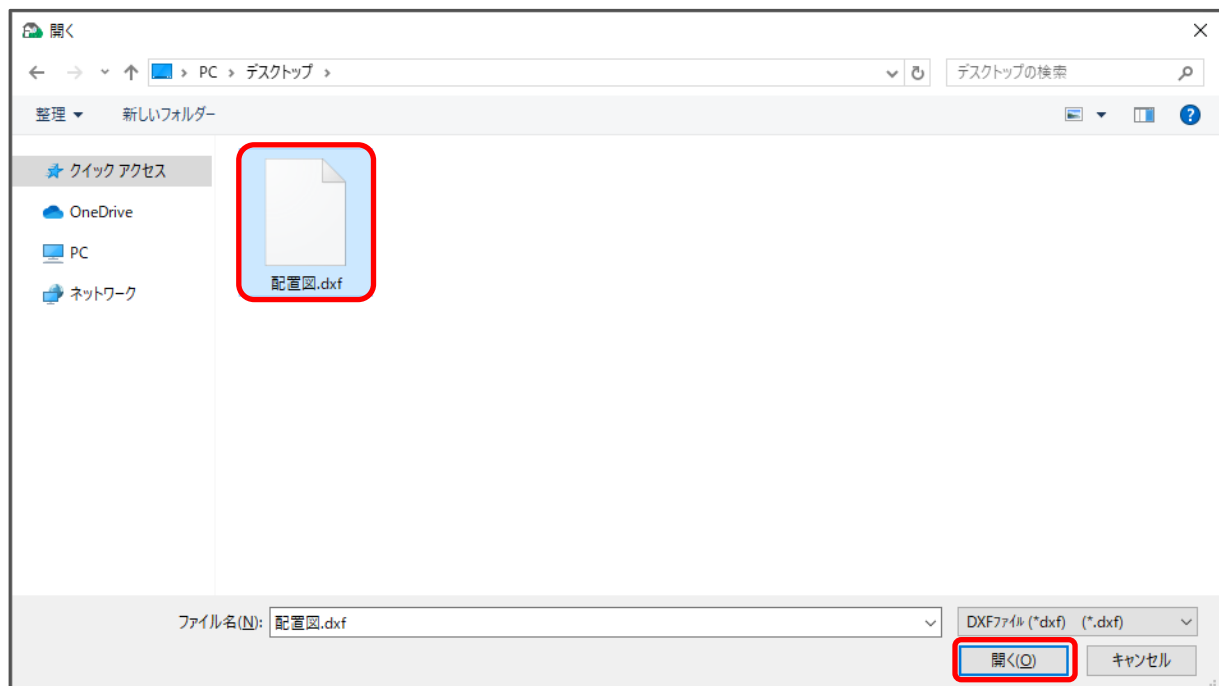
- ① (外構図)で、「ファイル」⇒「下図(DXF)」⇒「読み込み」をクリック



\* DXF ファイルを選択する画面が表示されます。

- ② 下図として利用したい DXF ファイルを選択し、「開く」をクリック

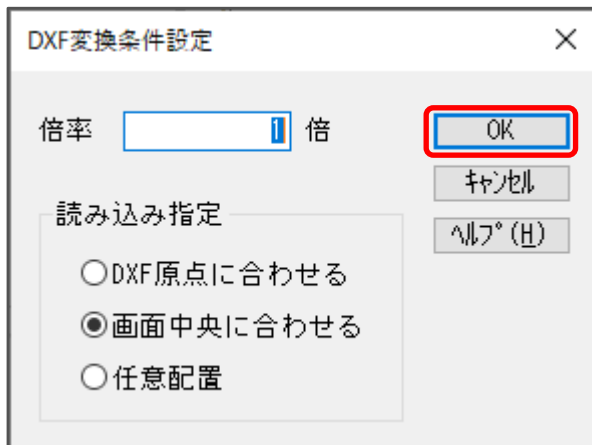
\* ここでは、デスクトップ上に保存していた「配置図.dxf」を選択します。



\* DXF 変換条件設定の画面が表示されます。

③ 設定を確認し「OK」をクリック

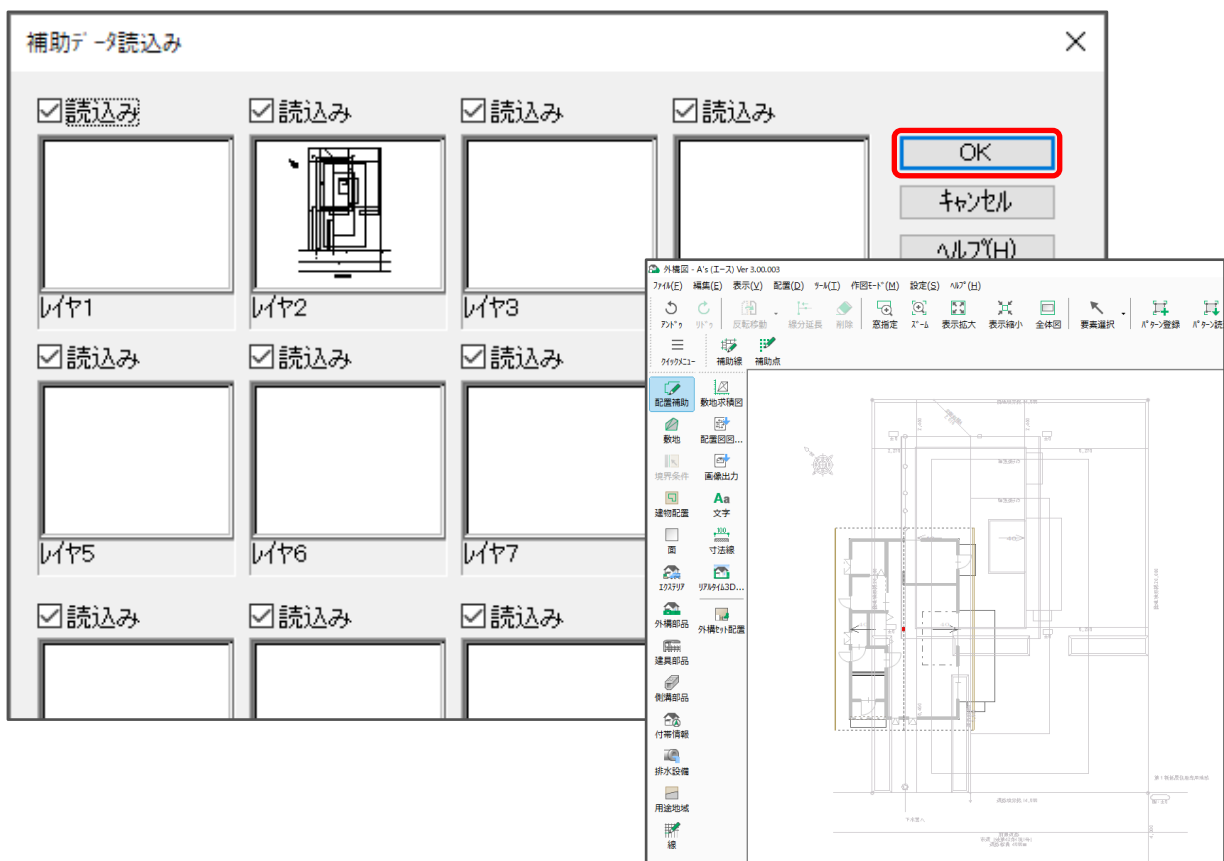
\* ここでは、倍率「1」倍、読み込み指定「画面中央に合わせる」に設定します。



\* 補助データ読み込み画面が表示されます。

④ 下図に不要なデータが入っているレイヤはチェックを外し、「OK」をクリック

\* DXF ファイルが下図として表示されます。



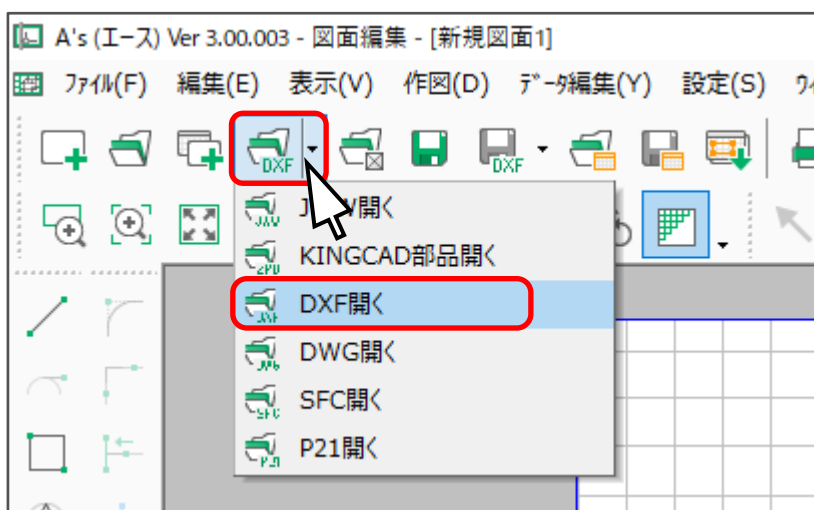
\* 補助データ読み込み画面で、下図に不要なデータが必要なデータと別のレイヤに入っている場合は、該当するレイヤの「読み込み」チェックを外すことで、下図読み込みの対象外になります。

P.3 操作③後に、補助データ読み込みの画面が表示されない、または表示に時間がかかる場合は、DXF ファイル内のデータが多く、処理に時間を費やしていることとなります。

DXF ファイル内のデータが多いと、読み込み後に外構図での画面の動きが遅くなるなど、操作に影響が出る場合もありますので、読み込む DXF ファイル内で下図に不要なデータは、あらかじめ削除しておきます。

- 図面編集で DXF ファイル内の不要なデータを削除

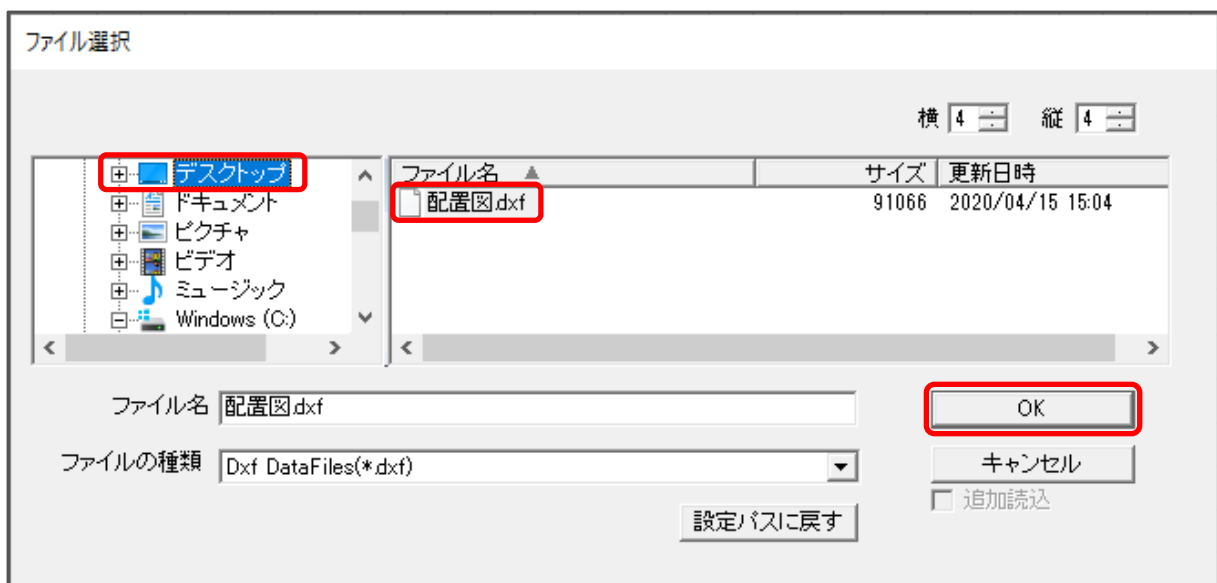
- ①  (図面編集)で、 (DXF 開く)をクリック



\* ファイル選択画面が表示されます。

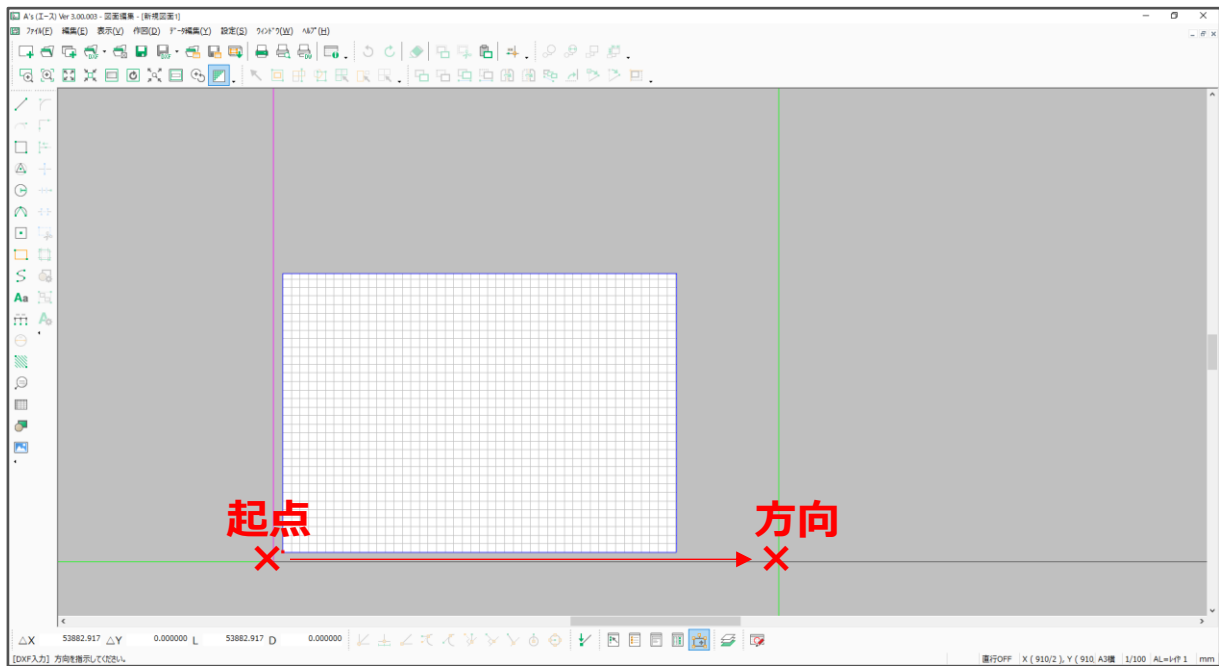
- ② 下図として利用したい DXF ファイルを選択し、「OK」をクリック

\* ここでは、デスクトップに保存した「配置図.dxf」を選択します。



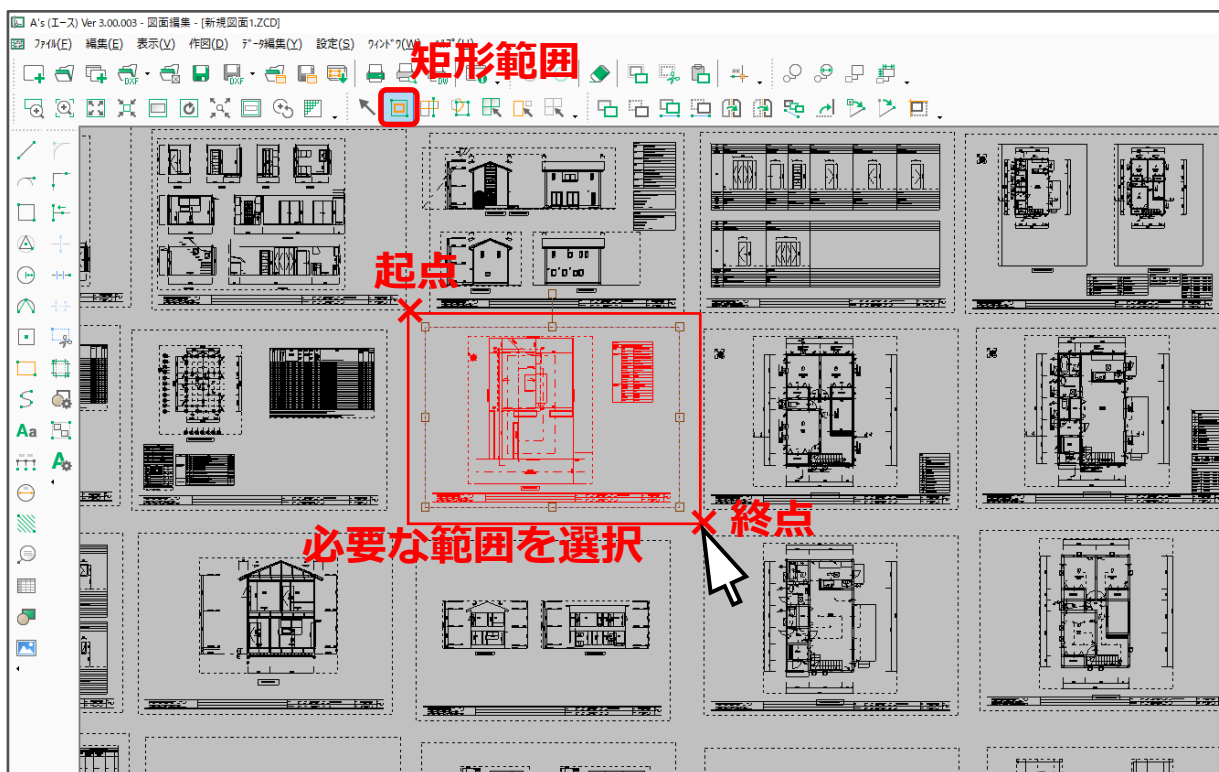
③ DXF ファイル全体がラバーバンドで表示されますので、起点-方向を指示

\* ファイル内のデータが多いと、読み込みに時間がかかる場合があります。



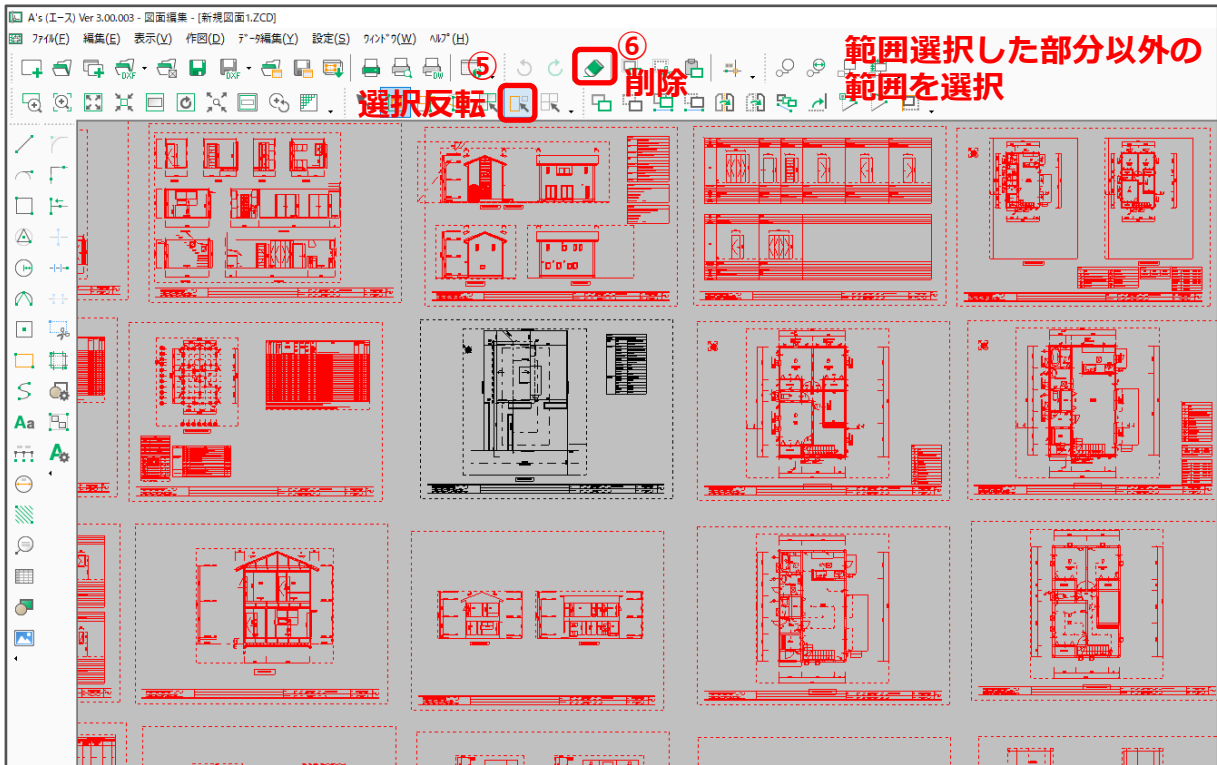
④ (矩形範囲)で、下図に利用したい要素の範囲を起点-終点で選択

\* 範囲選択した部分のみ赤くなります。



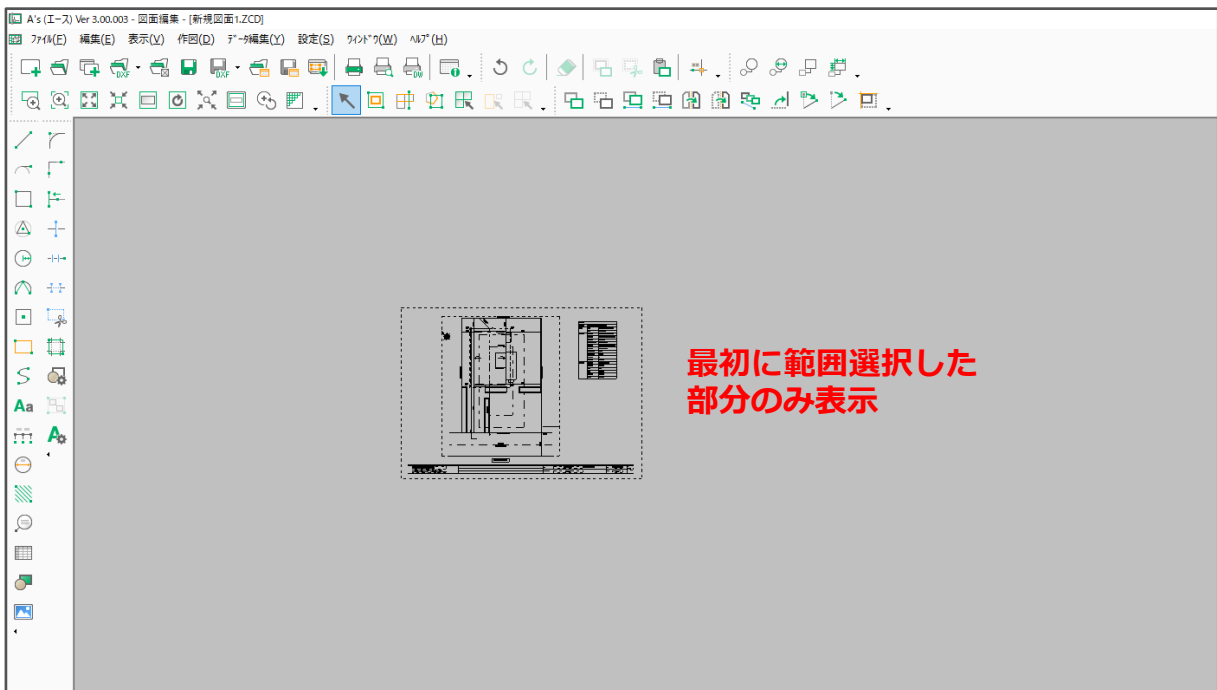
⑤ (選択反転)をクリック

- \* 右クリックメニュー内の「要素選択」⇒「選択反転」を選択してもかまいません。
- \* 選択範囲が反転し、P.5 操作④で範囲選択した部分以外が選択されます。



⑥ (削除)をクリック

- \* 「編集」⇒「削除」を選択してもかまいません。
- \* 不要なデータが削除されました。

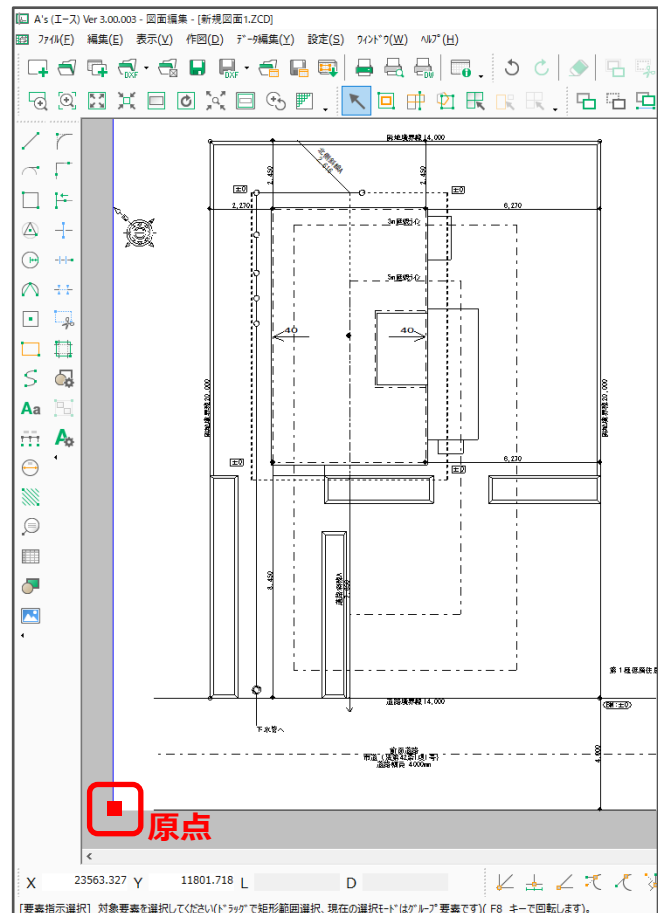
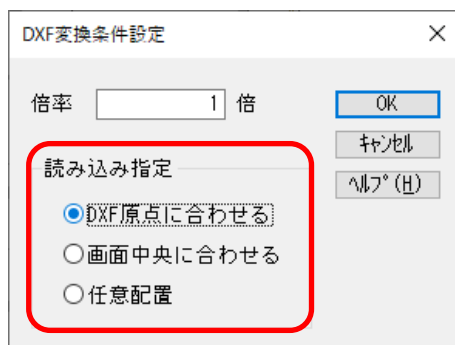


⑦ 用紙内におさまるように移動し、レイアウトなどを調整

\* 不要な線や枠などを削除します。

\* 用紙の左下にある赤い「■」が原点です。

下図 (DXF) 読み込み時に、DXF 変換条件設定の読み込み指定で、「DXF 原点に合わせる」または「任意配置」に設定した場合、この原点を利用します。



⑧ (DXF 保存) をクリック



\* 名前を付けて保存画面が表示されます。

⑨ 保存先とファイル名を指定し、「保存」をクリック

\* 保存した DXF ファイルを、P.2 「●下図 (DXF) 読み込み手順」で、外構図に下図として読み込みます。

## 参考

A's（エース）では縮尺を固定して読み込むため、JW\_CAD などを利用してレイヤごとに縮尺を設定している DXF ファイルを下図として読み込んだ時や、図面編集の「読込設定」で縮尺を合わせて読み込んだ時に、実際の縮尺と合わない場合があります。

その場合は、DXF ファイルとして保存する際に、各レイヤの縮尺を合わせてください。

- 例：JW\_CAD の場合

JW\_CAD の「設定」⇒「縮尺・読取」から縮尺・読取設定画面を開き、「全レイヤグループの縮尺変更」

「図寸固定」にチェックを入れ、縮尺を設定し、全レイヤの縮尺を設定した縮尺に合わせます。

全レイヤの縮尺を合わせた状態で、DXF ファイルとして保存してください。